

14 Feb. 2022

<参考資料>

- 1.埼玉県地域リハビリテーション推進体制 について
- 2.Independent Living Centre NSW. AUS について

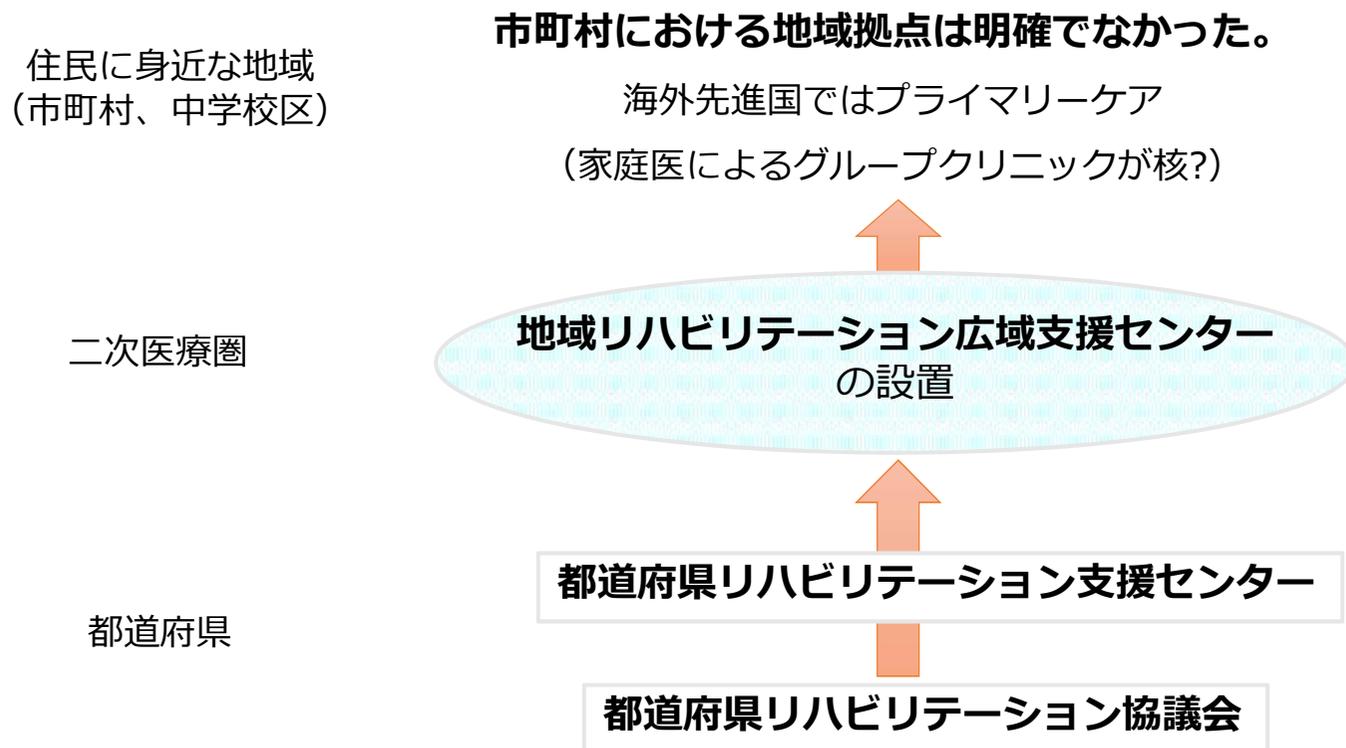
埼玉県医師会 理事

埼玉県地域リハビリテーション推進協議会 会長

医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長

齊藤 正身

# 1999年、地域リハ支援体制整備推進事業



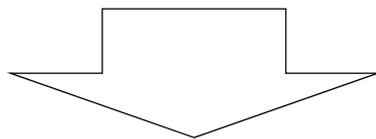
(1999年「地域リハビリテーション支援活動マニュアル」より、資料参照)

## ● 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業について

- 高齢者や障害を持つ者が、たとえ介護を必要とするようになっても、住み慣れた地域で生活が続けられることを基本理念とした地域リハビリテーションは、急性期から維持期にわたる適切なリハビリテーションの提供に加え、在宅ケアと施設ケア、さらに住民参加等も含めた広い概念のものである。
- このため、広い視野に立ったリハビリテーション連携指針の作成や、中核となる施設の指定、保健・医療・福祉関係諸機関への普及・啓発、患者の会等の自主的な活動の支援が総合的に推進されることが重要である。
- また、今後の高齢者のリハビリテーションは、住み慣れた地域において、本人を中心に予防・医療・介護サービスが切れ目なく流れるような体制の構築が重要であり…（略）

平成16年2月19日 全国高齢者保健福祉・介護保険担当課長会議資料より

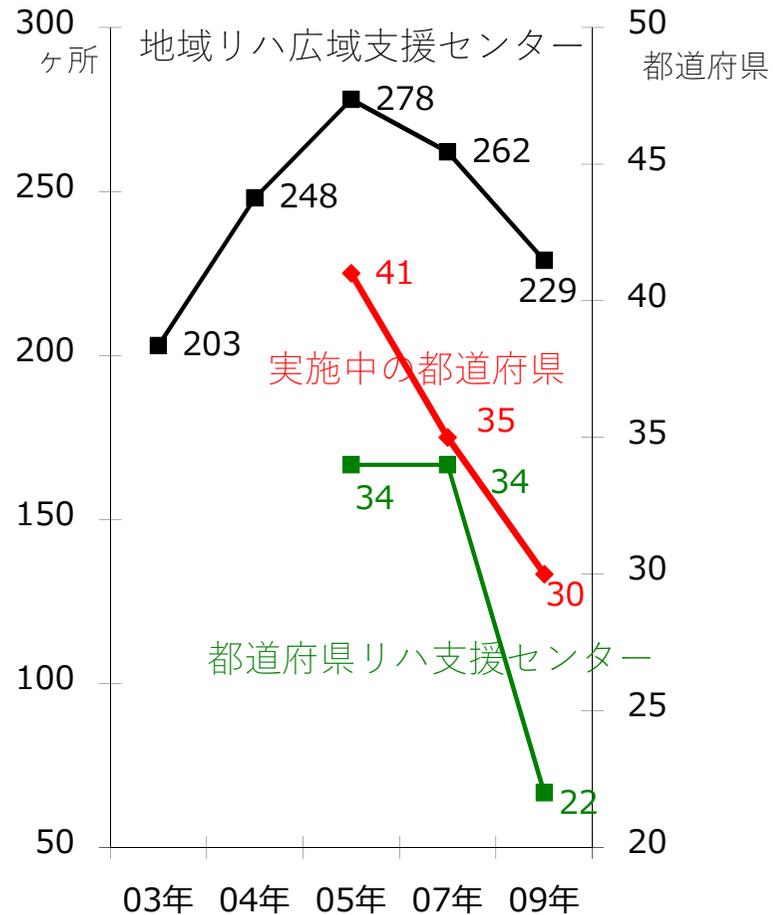
\* 平成12年度地域リハビリテーション支援体制整備推進事業が開始



\* 平成18年度からは国の補助事業から各都道府県における事業へと移行

# 地域リハ整備推進事業の実施状況の推移と主な支援活動

## 地域リハ整備推進事業の実施状況の推移



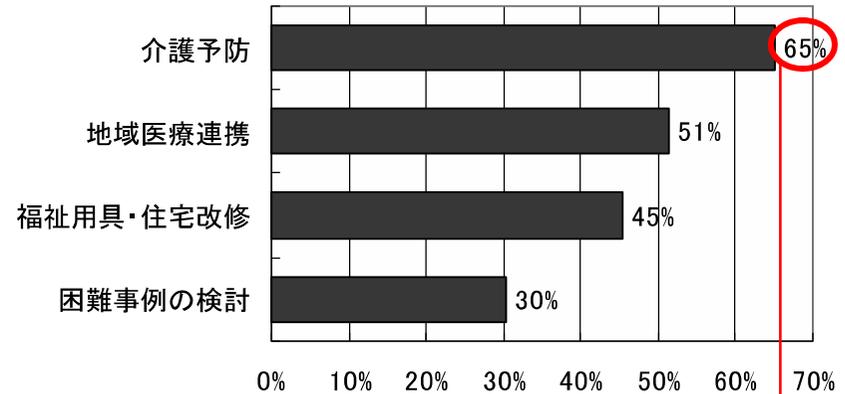
資料：Jpn J Rehabil Med VOL. 48 NO. 9 2011

日本リハビリテーション医学会 障害保健福祉委員会

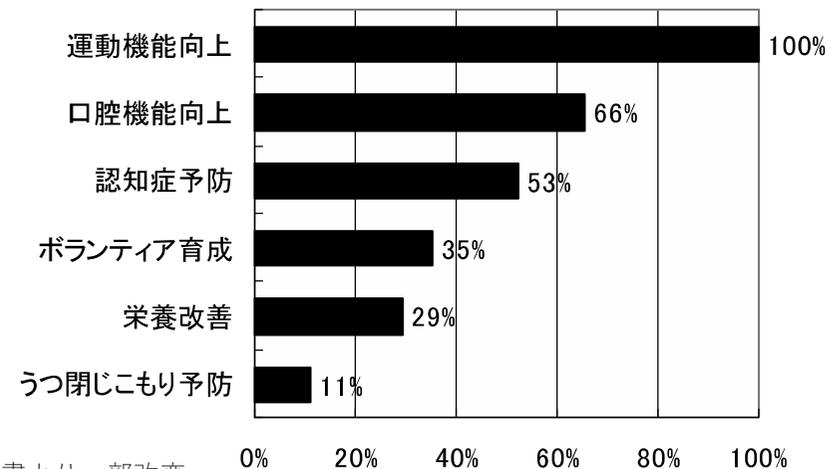
地域リハビリテーション広域支援センターに対するアンケート調査結果報告書より一部改変

全国の地域リハ広域支援センター実態調査 2011年1月

## 主な支援活動（重複回答） N=160



## 主な支援活動（介護予防） N=99



# (新) 埼玉県地域リハビリテーション 支援体制整備事業 再構築のきっかけ

- ・平成23年3月11日： 東日本大震災 発災
- ・平成23年3月15日： 原発事故によりさいたまスーパーアリーナへ避難
- ・平成23年3月22日： 県医師会長の要請により、ボランティア活動開始
- ・平成23年4月15日： 震災対応廃用予防ボランティアミーティング（250名）
- ・平成23年4月20日： 埼玉県（旧騎西高校）に避難された、福島県双葉郡双葉町に対し、県の医師会、理学療法士会、作業療法士会および言語聴覚士会で、4団体合同リハビリボランティア組織「CBR-Saitama Med.」を結団し、廃用予防を目的としたボランティア活動を開始。

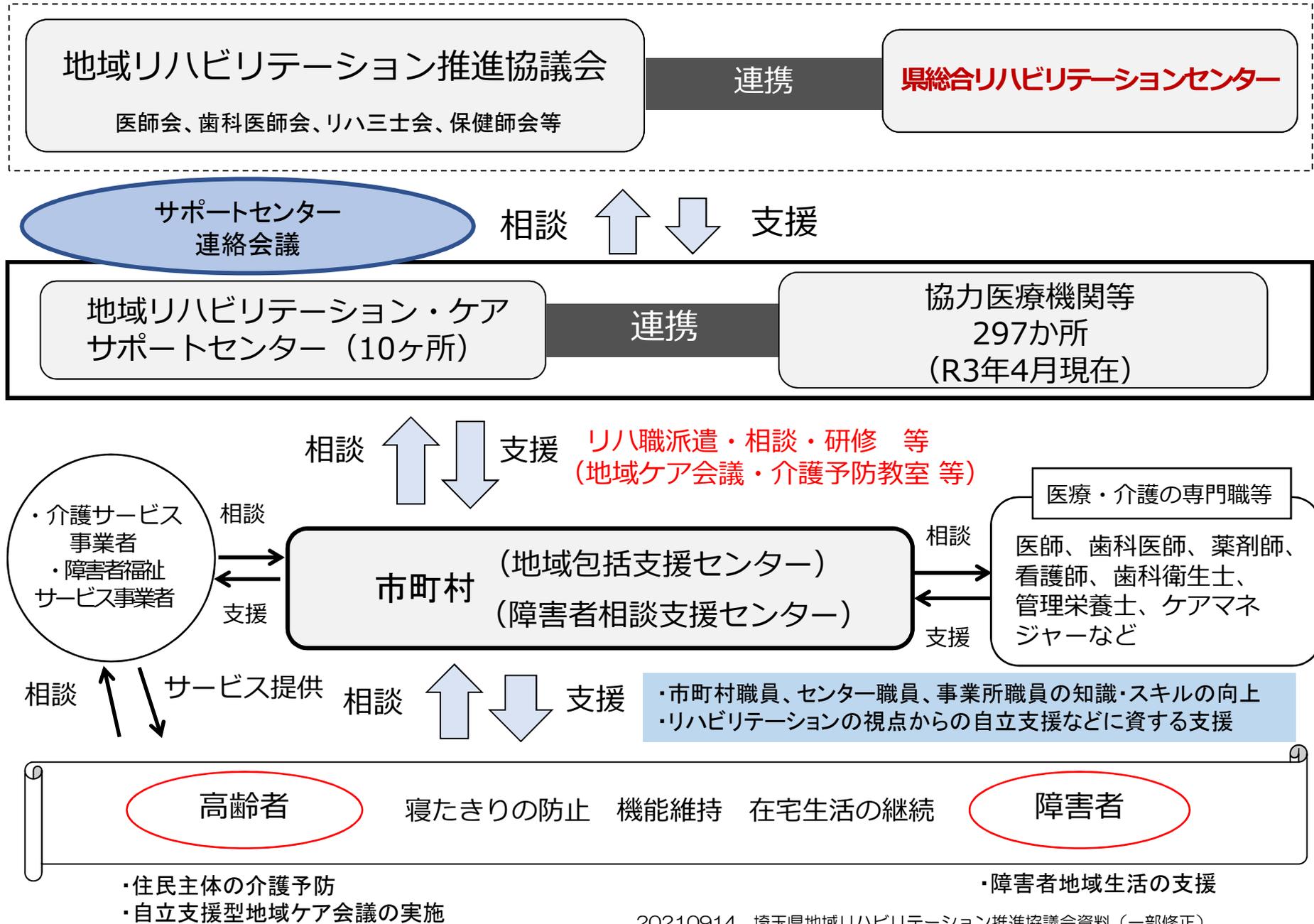
- ・平成25年2月： 県議会で質問「埼玉県のリハビリテーション体制を問う」



地域包括ケアの実現に向けた地域リハビリテーション支援体制の  
相談が始まる。

リハビリテーション職を派遣するスキームと多団体での協力体制が原点に

# 埼玉県地域リハビリテーション推進体制



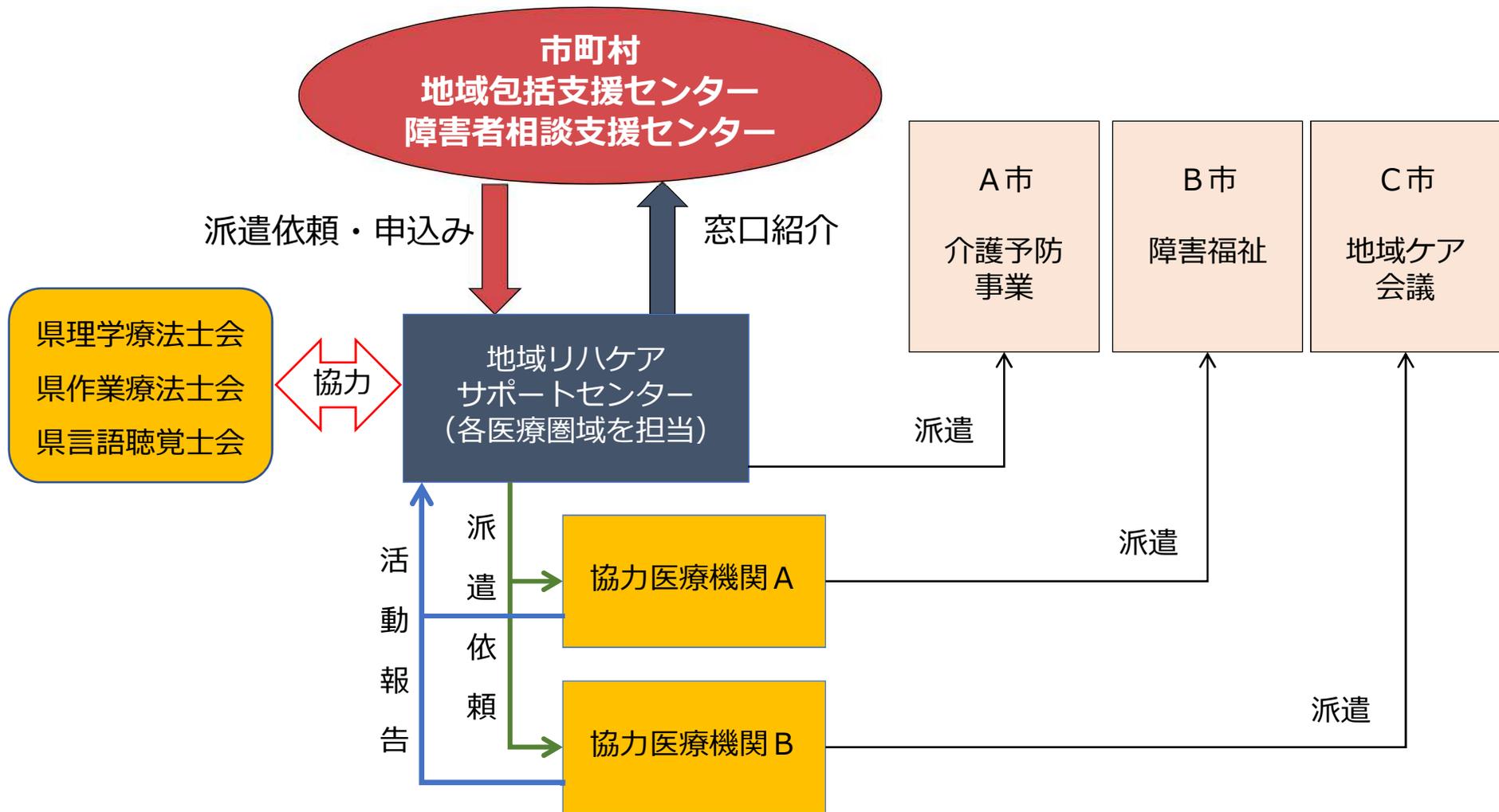


# 埼玉県地域リハビリテーション推進協議会

順不同

	所属等	職名	
会長	医療法人 真正会	理事長	学識経験者
	埼玉県医師会	副会長	関係団体
	埼玉県医師会	地域包括ケアシステム 推進委員会委員長	関係団体
	埼玉県歯科医師会	常務理事	関係団体
	埼玉県理学療法士会	会長	関係団体
	埼玉県作業療法士会	会長	関係団体
	埼玉県言語聴覚士会	会長	関係団体
	埼玉県市町村保健師協議会	会長	関係団体
	埼玉県介護支援専門員協会	副理事長	関係団体
	新座市西部高齢者相談センター	センター長	地域包括 支援センター
	埼玉県相談支援専門員協会	副代表	障害者相談 支援センター
副会長	埼玉県福祉部	副部長	県
	埼玉県保健医療部	副部長	県
	埼玉県総合リハビリテーション センター	福祉局長	県

# 基本的なリハ職の派遣スキーム



(出典：埼玉県地域リハ推進協議会報告資料より)

# Independent Living Centre NSW



# Independent Living Centre (ILC) NSW

- シドニーの中心から車で約30分にあるNSW州立のセンター
- 連邦政府の管轄だが、独立組織として運営。
- 高齢者および障害者のための補助機器類が常時2000～2500点、メーカーから借用して展示されている。
- センター自体がキッチン、バスルーム、寝室、居間、階段、トイレなど、自宅と同じような間取りになっていて、それぞれの生活場面に即した補助具等が展示されている。



# Independent Living Centre (1)

- 専門スタッフはすべてOT
- データベースは6000点で、NSW内で手に入る。  
(ILC Magic)
- 一般的には、まず電話にて問い合わせがあり、OTと相談をする。
- センターに直接来れば、トライアルができる。
- ニーズがはっきりしないときには、直接OTが訪問したり、近隣のOTを紹介する場合もある。
- フラッと訪れることもOKだが、販売はしない。
- 送迎については、業者やサービスを紹介。



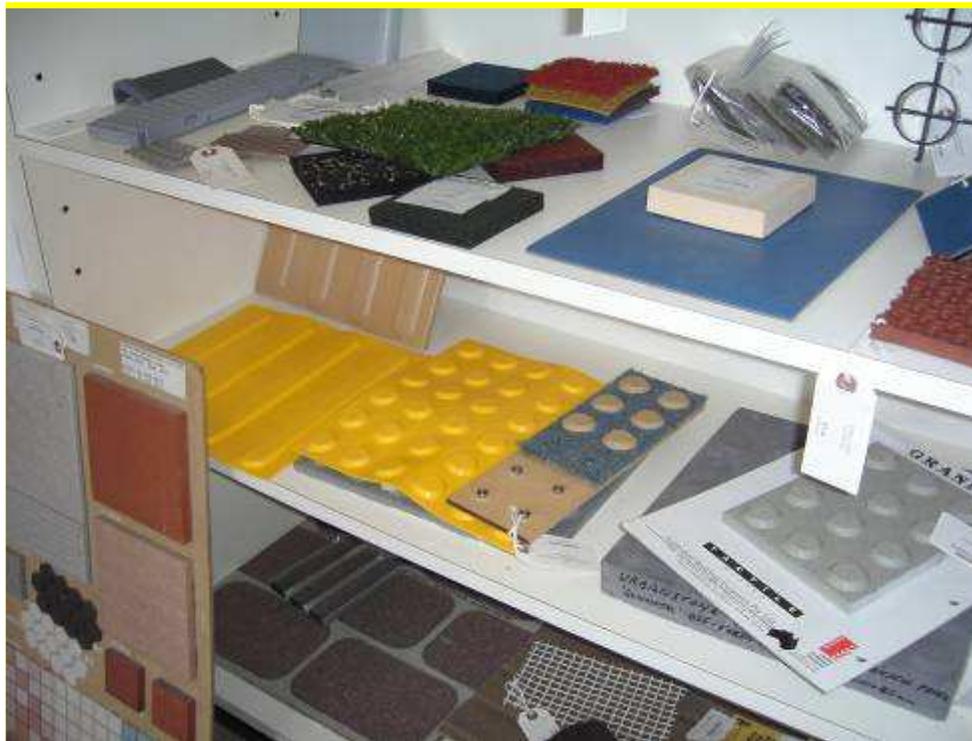








## 床材（インテリア）



## 床材（エクステリア）



at home and see  
turner works the

BORNA HAND

Replace the washers in the taps with  
new valves such as O rings, which  
require less turning force. Ask a  
plumbing supplier about the options.

Guidelines to assist  
when you have  
difficulty  
**Operating  
Taps**



Independent Living  
Centre













MANAGING INCONTINENCE

MAKING LIFE EASIER

**BEDSIDE COMMODORE CHAIRS**  
A Pad seat to  
prevent bed sores.  
Sturdy and folding  
for storage or  
transport.

WALKER  
Lumber Products  
Available in Pad  
Call 1-800-368-3688

rol!

FORSALE  
PARTS WITH  
BUILT IN  
PADS

Spread  
range of  
Most  
of all

# Independent Living Centre (2)

- 有料サービスは、
  - コンサルティング、リフォーム
  - 法的なアセスメント
  - トレーニング・プログラム
  - 刊行物
- 研修センターの役割もある。
  - Allied Health Member
  - Home Design & Equipment
  - 遠隔地の専門職のために、ローカルコールやビデオで紹介

2016.5.25

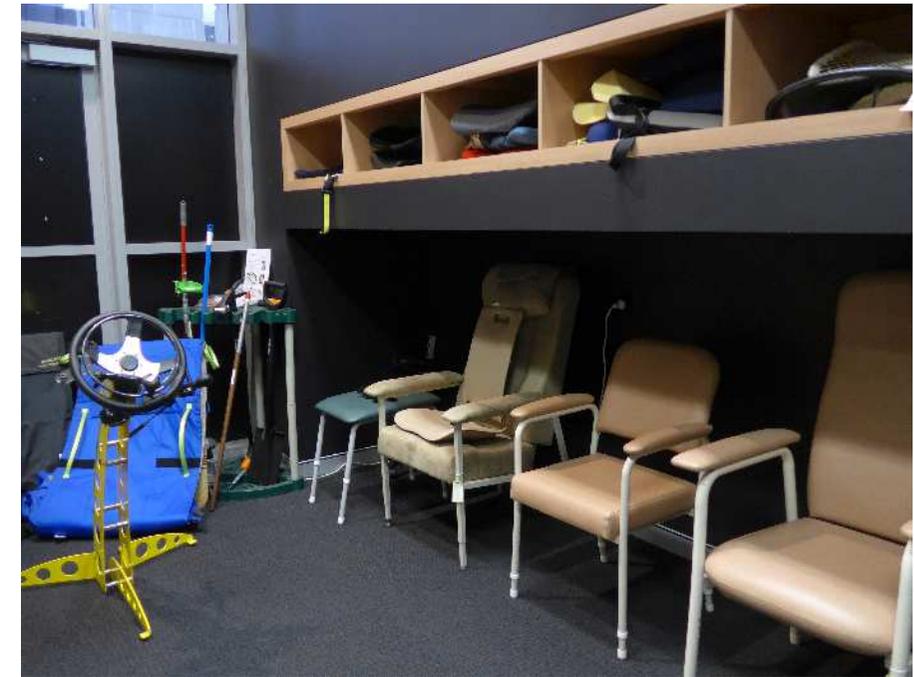
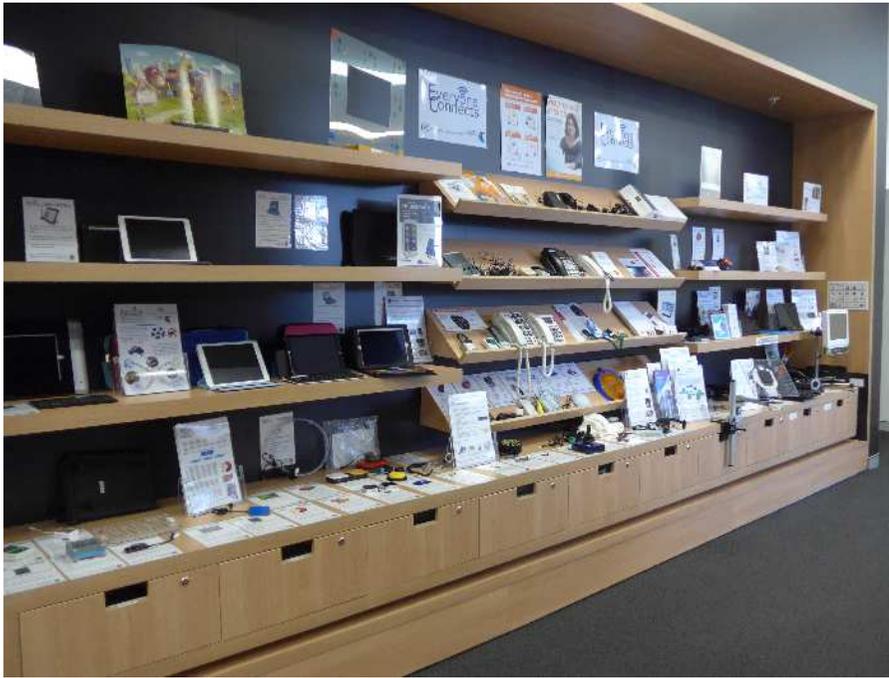




Independent  
Living Centres  
Australia









# Assistive Technology Australia

(formerly known as Independent Living Centre NSW)

## Infoline

電話、ファックス、電子メール、メールでのお問い合わせサービス。あなたの状況がどうであれ、設備、援助、そして家の改修についてのあなたの質問は、私たちのフレンドリーな資格のあるスタッフによって答えられます。適切な製品およびサプライヤーに関する情報は、電子メール、ファックス、または投稿することができます。このサービスは、オーストラリア保健省とNSW州家族およびコミュニティサービス局（ADHC）の両方によってサポートされています。発信者は無料です。 営業時間：月曜日から金曜日の午前9時から午後4時。

[https://ilcaustralia.org.au/contact\\_us/new\\_south\\_wales](https://ilcaustralia.org.au/contact_us/new_south_wales)

# Visitor Service

- 3種類のサービスが一般に提供されています。
- ディスプレイ（実物）を見たい方は、営業時間内であればいつでもご来店いただけます。
- より深く相談し、機器を試してみたい人は、作業療法士の1人に予約を入れることができます。
- コミュニティー組織は、メンバーのグループツアーを手配して、日常生活動作に役立つ製品の種類の概要を知ることができます。
- このサービスは、ニューサウスウェールズ州の家族およびコミュニティサービス部門と寄付によってサポートされています。

# Training

私たちは、この分野で働く医療専門職やその他の人々のために、支援技術関連のトレーニングと能力ベースのトレーニングコースを提供しています。

## AT(Assistive Technology) Database

AT製品のdatabaseを所持しています。 サプライヤーや組織からの意見を取り入れて、スタッフによって継続的に更新されています。 これは、Infolineチームがクライアントにアドバイスや情報を提供するために使用されます。

@magicのカテゴリは次のとおりです。

- ・ Walking and Mobility Aids
- ・ Continence Products
- ・ Wheelchairs and Scooters
- ・ Household Aids and Gadgets
- ・ Building Requirements and Design Ideas
- ・ Seating

# Our publications

- Guide to Planning Bathrooms and Kitchens
- Helpful Handbook on Memory Loss
- Buyers Guides
  - Selecting and using a Bath Seat
  - Choosing an Adjustable Bed
  - Select suitable Grab rails for safety in the home
  - Choosing a Hoist for the home
  - A brief guide to Manual Wheelchairs
- @ a Glance Guides:
  - Personal Alarm Call System
  - Checklist for Home Design
  - Solutions for Vision Impairment
  - Solutions for Arthritis
  - Falls Prevention
  - Joint Protection